様式２

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	9・開隆堂	第1学年 第2・3学年	美術・726 美術・826	美術1 美術2・3
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　絵や彫刻など 　第1学年では、身の回りにあるものや自然物をよく観察して描いたり、動物の動きや姿の特徴をとらえ立体的に表したりする活動、第2・3学年では、自分の内面を見つめ、自分らしさを表す自画像を絵に表したり、人の形や動きがつくり出す空間を考えて立体に表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　デザインや工芸など 　第1学年では、身の回りの日用品などに手を加え、生活を楽しむデザインを考えたり、竹や木、土などの自然材料の特徴を生かした工芸品をつくったりする活動、第2・3学年では、ポスターの作成に向け、形や色彩、文字などの総合的な構成を考えたり、場所を考え、光と明かり、映像で美しい空間を演出したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　鑑賞 　第1学年では、自分たちがつくり上げた作品の見せ方や飾り方の工夫について積極的に話し合う活動、第2・3学年では、日本の美術が西洋に与えた影響について話し合う活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　〔共通事項〕 　第1学年では、技法の工夫から発見した形や色彩をもとにし、イメージを広げて表現する活動、第2・3学年では、言葉だけでは伝わりにくい情報を、形や色彩を工夫して図やイラストなどに表現する活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　第1学年では、水彩絵の具のパレットや筆の使い方、彫刻刀等の種類や彫り方の種類を示したり、電動糸のこぎりの使い方を説明したりすること、第2・3学年では、材料や用具の特性を生かした伝統的な技能を使った題材において、沈金の制作過程や技法などを示したり、材料や用具の使い方を説明したりすることなど、知識・技能を習得する活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　第1学年では、生活に生きる工芸品を制作する題材において、木材と焼き物などの材料や方法を選ぶこと、第2・3学年では、抽象表現の題材において、水彩の描画やスチレン版画を選択することなど、学校や地域の実態に応じて、取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習することができるよう工夫されている。 ○　内容の分量 　第1学年～「絵や彫刻など」は20ページ、「デザインや工芸など」は16ページ、「鑑賞」は6ページ、資料が16ページであり、総ページ数は58ページで、前回よりも約16%増となっている。 　第2・3学年～「絵や彫刻など」は36ページ、「デザインや工芸など」は36ページ、「鑑賞」は25ページ、			
使用上の配慮等	○　第2・3学年の巻頭で、「美術はいつも生活や暮らしの中に」として、美術で身に付けた力を生かして社会で働く人たちを紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　題材の終末で生徒に身に付けさせたい力について、題材の「ふりかえり」としてマークや囲みで示すなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○　各題材の分野・内容に応じて色分けし、題材の冒頭や各ページにマークで示したり、用具の取り扱いなど、作品を作る上での安全・注意に関する内容をマークや囲みで示したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある題材は、第2・3学年の暮らしや気持ちを豊かにするデザインの題材で、アイヌ民族の伝統的な文様の「ルウンペ」を示すなど、北海道に関する作品等を紹介している。 ○　美術科における言葉の学習に配慮し、感想文やレポートを書いたり、発表し合ったりすることによって、表現や鑑賞を深める題材を設定している。 ○　全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウトにするなど工夫されている。			